

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名取委員委員 員 委 員 称	茅野市博物館協議会		
開 催 日 時	平成 27 年 3 月 26 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時		
開 催 場 所	八ヶ岳総合博物館 講堂		
出 席 者	浜篤委員長 浅川清志副委員長 沖野外輝夫委員 河西允人委員 小平光子委員 中村美恵子委員 名取陽委員 藤森栄子委員 赤羽秀俊委員 牛山英彦教育長 木川亮一生涯学習部長 守矢昌文文化財課長兼尖石考古館長 若宮崇令八ヶ岳総合博物館長 田村健神長官守矢史料館長 小林健治八ヶ岳総合博物館係長 柳川英司八ヶ岳総合博物館主査		
欠 席 者	岡野勇二委員 小口隆秀委員 関塚正嗣委員 戸田外史委員 根橋良紀委員 小池岳史尖石縄文考古館係長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍 聴 者 の 数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
守矢尖石縄文考古館長（以下、考古館長）  浜委員長 考古館長  浜委員長  沖野委員  考古館長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 教育長あいさつ</li> <li>3 協議事項                         <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度の事業報告について（尖石縄文考古館資料説明）</li> <li>・平成 26 年 8 月 21 日に、中ッ原遺跡出土仮面土偶が国宝になった。その相乗効果で、来館者が増加した。</li> <li>・館の取り組みは、全庁的に進めている縄文プロジェクトだが、「縄文文化を識る」「識っていただく」という事業を展開している。</li> <li>・縄文科が設置され、小中学校と連携を取っている。小学生に縄文検定を受検してもらい、全員が合格した。</li> <li>・中ッ原遺跡出土仮面土偶が国宝になり、関連して様々なイベントや無料開館を行った。</li> <li>・縄文学習の支援として、尖石縄文考古館職員が、学校で講座をしている。</li> <li>・入館者数が増加している。</li> </ul> </li> </ol> <p>今年重点を置いた事業は何か。</p> <p>「識る」というキーワードで茅野市内で尖石縄文考古館や縄文時代や仮面土偶を知らない人たちに対して PR に努めた。学んでいく機会を設けた。普及するために無料開館し、来てもらって見てもらうことを重点に置いた。</p> <p>かつて尖石縄文考古館にいたときに、来館者が本を見て、この土器を見せてくれと言われ、収蔵庫に案内したら、熱心に見ていた。後で感謝された。尖石縄文考古館にあるのは、すごい財産だと思う。</p> <p>入館者 5 割増しというが、物理的に混雑すると思うが、困ったことはないか。</p> <p>なるべく展示解説をすることになっている。ボランティアや縄文博士の人たちに手伝って貰っているが、今後、展示解説を充実させていきたいと思</p>		

沖野委員	う。 近代的な機器を使用するのではなく、学芸員が説明したほうがウケはよいのか。
考古館長	直に対応した方がいい。この学芸員がいいという指名まで入る。直の方が色々伝わると思う。
名取委員 考古館長	これまでの見学者の感想で何かあったか。 来館者が何かを感じ取って、知り合いを連れてきて、自分で解説するということが見られるようになった。リピートする来館者が増加していると思われる。
牛山教育長（以下、 「教育長」）	考古館長が「知る」ということを言っているが、「識る」という概念で使っている。「識る」は土偶を見たら宇宙的なものを感じるという意味で意識して使っている。
河西委員	前回の博物館協議会でも言ったが、交通手段のない人をどうするかという話をしたが、その後、バスの増便はあったか。
考古館長	現在路線バスとビーナちゃんバスがあり、これは確保されており、利用者は増加した。バスの情報はホームページに載せている。増発は難しい。市役所全体の課題である。
浜委員長	縄文のビーナスは、当時の人たちにとっては、現代の仏像に匹敵するほどのものではなかったかと思う。
教育長	縄文科の学習の中で、小学生が土偶から様々なことを感じ取っている。1年目からこのような雰囲気になっているので、今後に期待が持たれる。
河西委員	考古館長の説明にもあったが、以前、考古館へ行ったときに、湖東小学校の児童の作品を見た。展示に、教育長が言った児童が土偶から感じ取ったことが書かれていた。自分とは違った感覚があって面白かった。自分が、かえって小学生から教わった面があった。
教育長	茅野市美術館と尖石縄文考古館が行った縄文アートで、湖東小学校の児童が作品を作成したが、縄文人たちが生活の中で作ったものから、自分はどう感じ取ったとか、自分でこういうことができたとか、そういうところまで表現できたのがすごいなと思った。自分がこういう色になぜしたかという解説までつけている。
考古館長	作品の現物は返却したが、記録は取ってある。
浅川副委員長	P3の4-(3)で、小学生が縄文のビーナスの解説をしたが、大変勉強していて、我々もいろいろ教えられた。このロビー展が一番よかった。これは継続してもらいたい。今後、縄文時代を探究していこうという人が出て来ると思う。
考古館長	解説に限らず、小・中学生の成果を展示していきたい。博物館に飾るといことは、滅多なことではないので、飾ることにより自信も付くし、自分の成果が認められたと思える。
浜委員長	子供たちは縄文学習で成果が高まったが、大人はどうか。茅野市で関心は深まっているか。
考古館長	目ざとく商品に結び付けようとする人が出てきている。関心度は高まっていると思う。
藤森委員	仮面土偶が国宝になった効果は大きいと思う。もっとアピールしてもらいたい。

若宮八ヶ岳総合博物館長（以下、「博物館長」）	<p>（若宮八ヶ岳博物館長資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者はほぼ横這い、微増である。</li> <li>・市民研究員の活動は2年目になる。研究員に力を付けて貰って、独自に活動して貰う。</li> <li>・博物館の中・長期計画を政策調整会議から審議するということ、企画運営会議を開催した。来年度は、もっと具体的にするために作業部会を設けて審議する。</li> </ul>
浜委員長	市民研究員の発表に出席したが、すばらしい活動だった。これらの人たちが講師になっていくのか。
博物館長	<p>実験工作グループはすでに市民が講師となって子供たちを指導している。子供実験工作クラブは4月に募集した子供だけだったが、グループの人はそれだけではダメだと言うことで、もっと不特定多数に活動を行いたいと、来年度からは、子供実験工作クラブ以外に、毎月第3日曜日に、わくわく実験工作クラブを開催する。また、植物グループとキノコグループはもっと、市民に開かれた活動をしたいということで活動している。キノコグループは、市民研究員中心に同定会と観察会を行っている。職員ができないところを支援して貰っている。来年度で第1期が終わるが、今後も発展させていきたい。</p>
名取委員	<p>釜無川の源流に植物グループで観察に行ったら、絶滅危惧種の「ツルガシワ」があった。これが長野日報に取り上げられ知名度が上がった。市民研究員の参加者は非常に熱心である。植物グループの活動の指導を行っているのは4人で、すべて教員である。ニュース性があれば、研究員は増加すると思うが、質を高めるためには、博物館の存在は必要だ。</p>
浜委員長	今の市民研究員以外の分野の広がりもなくしてはいけない。
名取委員	市民研究員の一般市民へのPRはしているか。
博物館長	年度が替わるときに「広報ちの」で告知をしている。
浜委員長	機関誌は年間1号だけか。回覧板で「紀要」の簡易版を出せないか。
木川生涯学習部長（以下、「生涯学習部長」）	年次計画に載せられればできる。しかし、区長が配っているので、やたらに増やせない。
浜委員長	市民研究員活動を知らない市民は多いと思う。
河西委員	市民で知らない人は多いと思う。
名取委員	植物だが、広報で市のバスでガイド付きで集めるとかなり人が来ると思う。しかしバスの手配など大変なので、吉田山の市民の森などの近いところなどがいいのではないか。
河西委員	広報に大きな字で回覧すれば効果があると思う。
浜委員長	茅野市の良さを、まず市民が感じなければならない。
田村神長官史料館長（以下、史料館長）	<p>（田村神長官史料館長資料説明）</p>
浜委員長	史料館は御柱と関係はないか。
史料館長	今年度は御柱とは直接関係はなかった。
浜委員長	御柱祭に関係する展示はないのか。
史料館長	来年度は考えていかなければならない。

河西委員 柳川八ヶ岳総合博 物館主査 河西委員	<p>学習会員は何人か。 P16にある。</p>
浜委員長 史料館長	<p>学習会員を知らない人が多い。こういういいものがあると知ることがあれば、誘われてくると思う。</p> <p>建御名方命に関する展示をしていないか。 展示に建御名方命に関する展示はあり、大体来館者に説明している。説明を受けた人が興味を持って、知人を連れてくる。</p>
小平委員	<p>・全体を通して</p> <p>総合博物館の収蔵庫のお披露目会があったが、見ている人は限られている人だけだと思うが、機織り関係では、虫干しをかねて飾っていただいて、どのようなものがあるかは、館の人間もしらないと思うので、機織りボランティアに詳しい人間がいると思うので、館から手伝いの要請をしてもらいたい。また、関連する企画を行って欲しい。</p>
博物館長	<p>「着物展」を開催することは、館の中では検討しているので、開催する時は声をかけるので手伝ってほしい。</p>
中村委員	<p>尖石縄文考古館へ講師の先生を案内した時に、学芸員がわかりやすく説明してくれたのが誇らしかった。学芸員が案内してくれると、身近に感じられていいので、博物館と史料館でも説明してくれればいいのにと思う。</p>
沖野委員	<p>先ほど市民研究員の話があったが、自然系はなかなか難しいが、実検工作グループは内部から企画が出てくるという話だった。完成形は市民から企画が出てくることだ。自然系は2期目の目標にしていったらいいのではないだろうか。</p>
博物館長	<p>できたら成果を皆に示すことができるように、学校などで講義するような展開もあるかもしれないので、図鑑のようなものの発行に結び付けていきたい。研究員からどのような成果が出てくるか楽しみにしている。</p>
浜委員長 沖野委員	<p>博物館に断層や地震についての展示が欲しいと思う。</p> <p>各博物館のPRについて、尖石縄文考古館で小学生のものがあったが、それが皆さんにわかりやすいと言うことであれば、市役所のロビーで展示できれば、尖石縄文考古館へ行けなかった人が見て、いいと思うのではないか。館内だけではなく、市役所をうまく利用するというのいいのではないか。</p>
考古館長 浜委員長	<p>多くのところで目立つ展示ができれば。</p> <p>学芸員数が少ないところで、多彩な活動をしている。学芸員の苦勞が感じられる。</p>
生涯学習部長	<p>・その他</p> <p>理系の学芸員の募集をしたが、申し込みがなかった。ただ、募集はしていきたい。</p>
博物館長	<p>理系の学生は学芸員の資格を持っている人が少ないので、学芸員という入口は敷居が高いような気がする。</p>
浜委員長 博物館長 教育長	<p>学芸員の実習生は来ているのか。 博物館にも考古館にも来ている。</p> <p>平成25・26年度の博物館協議会委員皆様には大変お世話になった。今回が任期委員会であるが、来年度以降も継続して委員をお願いする方は、改</p>

小林八ヶ岳総合博  
物館係長

めてお力をいただきたい。

・事務連絡

前回の協議会で、国宝のレプリカを八ヶ岳総合博物館で展示したらどうかという話があったので、今年の縄文月間から入り口に展示した。藤森委員が作成したものだ。

4 閉会

～午後 3 時 15 分終了～